

宮古市「復興に向けた計画づくりに関するアンケート調査」結果 【鉾ヶ崎地域版】

1. 調査概要及び回収状況

(1) 調査概要

調査方法：郵送による配布、回収

調査期間：【発送】平成23年7月8日 【回答の返送締切】平成23年7月26日

対象者：被災地域及びその周辺の各世帯

配布数：【市全体】6,644世帯 【鉾ヶ崎地域】994世帯

(2) 回収状況(平成23年8月16日時点)

回収数：【市全体】3,200世帯 【鉾ヶ崎地域】461世帯

回収率：【市全体】48.2% 【鉾ヶ崎地域】46.4%

2. 集計結果(鉾ヶ崎地域分)

(1) 回答者の属性

問1：世帯の代表の方についてお聞きします。

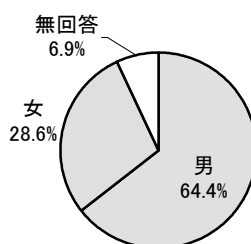
それぞれ当てはまる番号を1つ選び○を付けてください。

- 世帯の代表の方にお答えいただいたことにより、「男性」、「70歳代以上」の回答者が多くなっています。また、家族構成は一世帯世帯、二世帯世帯をあわせると、約60%を占めています。

ア：性別

	全体		鉾ヶ崎	
	回答数	割合	回答数	割合
男	2,172	67.9%	297	64.4%
女	814	25.4%	132	28.6%
無回答	214	6.7%	32	6.9%
計	3,200	100.0%	461	100.0%

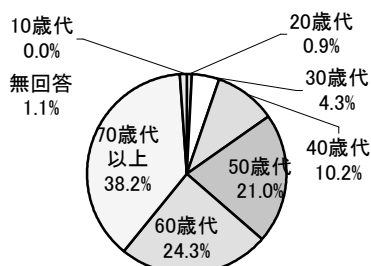
ア：性別(N=461)



イ：年齢

	全体		鉾ヶ崎	
	回答数	割合	回答数	割合
10歳代	1	0.0%	0	0.0%
20歳代	51	1.6%	4	0.9%
30歳代	218	6.8%	20	4.3%
40歳代	393	12.3%	47	10.2%
50歳代	572	17.9%	97	21.0%
60歳代	875	27.3%	112	24.3%
70歳代以上	1,050	32.8%	176	38.2%
無回答	40	1.3%	5	1.1%
計	3,200	100.0%	461	100.0%

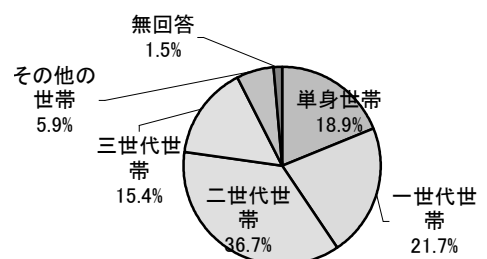
イ：年齢(N=461)



ウ：現在の家族構成

	全体		鉾ヶ崎	
	回答数	割合	回答数	割合
単身世帯	592	18.5%	87	18.9%
一世帯世帯	786	24.6%	100	21.7%
二世帯世帯	1,142	35.7%	169	36.7%
三世帯世帯	425	13.3%	71	15.4%
その他の世帯	194	6.1%	27	5.9%
無回答	61	1.9%	7	1.5%
計	3,200	100.0%	461	100.0%

ウ：現在の家族構成(N=461)



- 現在のお住まいが震災前とは別の方においては、「仮設住宅」の割合が最も高く、次いで「民間賃貸住宅」となっています。

エ:現在の住まい

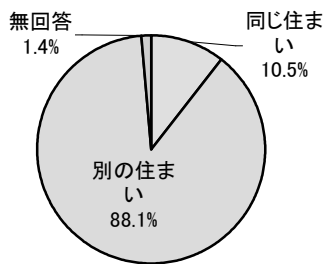
	全体		鉾ヶ崎	
	回答数	割合	回答数	割合
同じ住まい	993	36.8%	37	10.5%
別の住まい	1,672	61.9%	312	88.1%
無回答	35	1.3%	5	1.4%
計	2,700	100.0%	354	100.0%

※[問2エ]の「被害なし」を除いた
2,700人(鉾ヶ崎354人)を対象

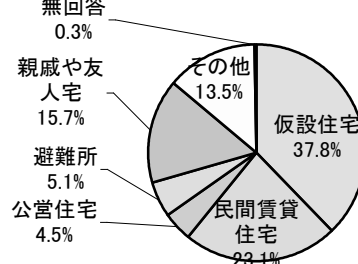
	全体		鉾ヶ崎	
	回答数	割合	回答数	割合
仮設住宅	793	47.4%	118	37.8%
民間賃貸住宅	368	22.0%	72	23.1%
公営住宅	78	4.7%	14	4.5%
避難所	33	2.0%	16	5.1%
親戚や友人宅	177	10.6%	49	15.7%
その他	214	12.8%	42	13.5%
無回答	9	0.5%	1	0.3%
計	1,672	100.0%	312	100.0%

※[エ]で「別の住まい」と回答
した1,672人(鉾ヶ崎312人)を対象

現在の住まい



別の住まい(内訳)



- 震災前に仕事に就いていた方の職業は、「販売・サービス業」、「漁業」が多く、職場については約40%が「鉾ヶ崎」となっています。
- 震災前に仕事に就いていた方のうち、震災後に何らかの変化(休業、廃業、退職、失業)があったと回答した方は、約40%となっています。

オ:震災前の仕事

	全体		鉾ヶ崎	
	回答数	割合	回答数	割合
農林業	28	0.9%	0	0.0%
漁業	371	11.6%	64	13.9%
製造業・建設業	447	14.0%	52	11.3%
販売・サービス業	618	19.3%	87	18.9%
公務員・団体職員	280	8.8%	32	6.9%
主婦(夫)	137	4.3%	26	5.6%
学生	1	0.0%	0	0.0%
無職	985	30.8%	159	34.5%
その他	263	8.2%	34	7.4%
無回答	70	2.2%	7	1.5%
計	3,200	100.0%	461	100.0%

カ:震災前の職場の場所

	全体		鉾ヶ崎	
	回答数	割合	回答数	割合
宮古	418	20.1%	45	16.3%
愛宕・光岸地	51	2.5%	2	0.7%
鉾ヶ崎	144	6.9%	107	38.8%
藤原・磯鶏	177	8.5%	13	4.7%
高浜	34	1.6%	2	0.7%
金浜	26	1.3%	0	0.0%
崎山	37	1.8%	3	1.1%
津軽石	78	3.8%	4	1.4%
赤前	66	3.2%	5	1.8%
重茂	59	2.8%	0	0.0%
田老	233	11.2%	4	1.4%
その他宮古市	141	6.8%	20	7.2%
県内	85	4.1%	5	1.8%
県外	43	2.1%	11	4.0%
無回答	486	23.4%	55	19.9%
計	2,078	100.0%	276	100.0%

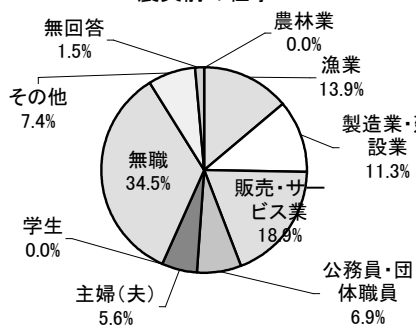
※[オ]の主婦(夫)、無職を除いた
2,078人(鉾ヶ崎276人)を対象

キ:震災後の仕事の変化

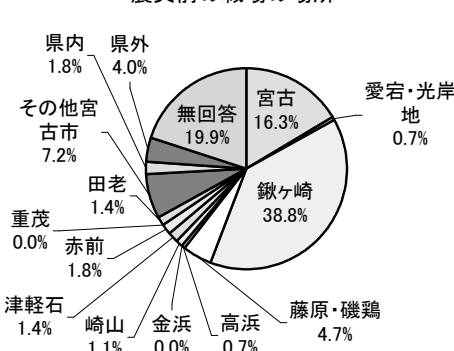
	全体		鉾ヶ崎	
	回答数	割合	回答数	割合
休業	396	19.1%	55	19.9%
廃業	138	6.6%	16	5.8%
退職	99	4.8%	16	5.8%
失業	182	8.8%	27	9.8%
変化なし	895	43.1%	112	40.6%
その他	182	8.8%	23	8.3%
無回答	186	9.0%	27	9.8%
計	2,078	100.0%	276	100.0%

※[オ]の主婦(夫)、無職を除いた
2,078人(鉾ヶ崎276人)を対象

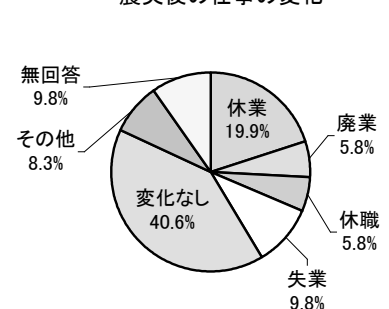
震災前の仕事



震災前の職場の場所



震災後の仕事の変化



(2) 震災前の住まい、今後の住まいについて

問2：震災前のお住まいについてお聞きします。

それぞれ当てはまる番号を1つ選び○を付けてください。

問3：今後の住まいをどのようにお考えですか。

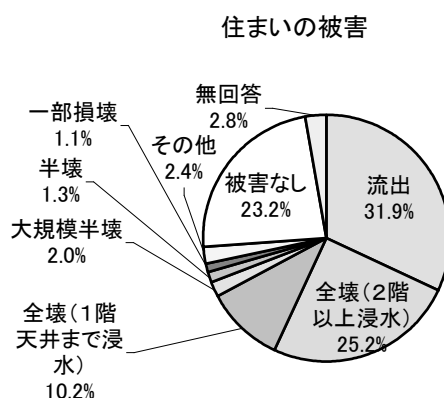
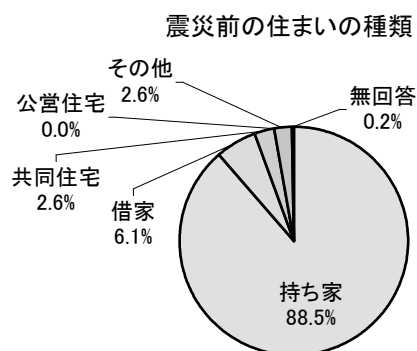
- 震災前の住まいのほとんどが「持ち家」となっています。
- 住まいの被害については、「流出」、「全壊」、「大規模半壊」の被害を受けている方が、約70%を占めています。
- 今後の住みたい場所については、「市内で津波被害を受けない場所」、「近くで津波被害を受けない高台など」が多く回答されています。（4ページ）
- 今後の住まいとしては、約45%が「新築」となっています。（4ページ）
- 住みたい場所の理由は「住み慣れた地域を離れたくない」と「津波被害を受けたくない」が多くなっています。（4ページ）
- 住みたい場所と考えている住まいをクロス集計すると、「市内で津波被害を受けない場所」で「新築」が最も多く、約20%となっています。（4ページ）

ウ：震災前の住まいの種類

	全体		鉾ヶ崎	
	回答数	割合	回答数	割合
持ち家	2,639	82.5%	408	88.5%
借家	225	7.0%	28	6.1%
共同住宅	218	6.8%	12	2.6%
公営住宅	26	0.8%	0	0.0%
その他	41	1.3%	12	2.6%
無回答	51	1.6%	1	0.2%
計	3,200	100.0%	461	100.0%

エ：住まいの被害

	全体		鉾ヶ崎	
	回答数	割合	回答数	割合
流出	853	26.7%	147	31.9%
全壊(2階以上浸水)	307	9.6%	116	25.2%
全壊(1階天井まで浸水)	524	16.4%	47	10.2%
大規模半壊	408	12.8%	9	2.0%
半壊	305	9.5%	6	1.3%
一部損壊	147	4.6%	5	1.1%
その他	83	2.6%	11	2.4%
被害なし	500	15.6%	107	23.2%
無回答	73	2.3%	13	2.8%
計	3,200	100.0%	461	100.0%



ア-1:住みたい場所

	全体		鎌ヶ崎	
	回答数	割合	回答数	割合
同じ場所	990	36.7%	89	25.1%
近くの高台など	753	27.9%	99	28.0%
市内	639	23.7%	122	34.5%
市外	99	3.7%	12	3.4%
その他	72	2.7%	9	2.5%
無回答	147	5.4%	23	6.5%
計	2,700	100.0%	354	100.0%

※[問2エ]の「被害なし」を除いた
2,700人(鎌ヶ崎354人)を対象

ア-2:考えている住まい

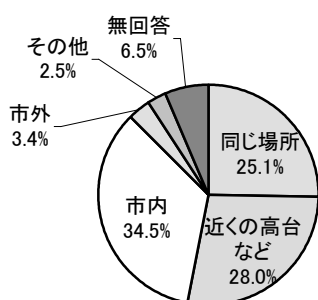
	全体		鎌ヶ崎	
	回答数	割合	回答数	割合
既に補修	488	18.1%	9	2.5%
補修予定	269	10.0%	19	5.4%
新築	811	30.0%	156	44.1%
民間賃貸	89	3.3%	9	2.5%
公営住宅	176	6.5%	19	5.4%
未定	486	18.0%	98	27.7%
その他	82	3.0%	9	2.5%
無回答	299	11.1%	35	9.9%
計	2,700	100.0%	354	100.0%

※[問2エ]の「被害なし」を除いた
2,700人(鎌ヶ崎354人)を対象

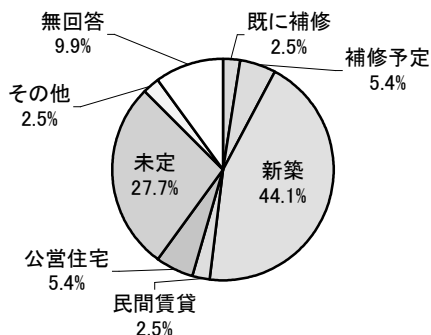
イ:理由(複数回答)

	全体		鎌ヶ崎	
	回答数	割合	回答数	割合
離れたくない	1,441	53.4%	177	50.0%
仕事場が近い	442	16.4%	48	13.6%
生活に便利	871	32.3%	83	23.4%
津波被害を受けたくない	1,037	38.4%	161	45.5%
近所づきあい	640	23.7%	89	25.1%
子どもの教育環境	229	8.5%	32	9.0%
早く住宅確保	812	30.1%	136	38.4%
費用がかかる	797	29.5%	94	26.6%
その他	121	4.5%	13	3.7%
無回答	143	5.3%	25	7.1%
計	6,533		858	

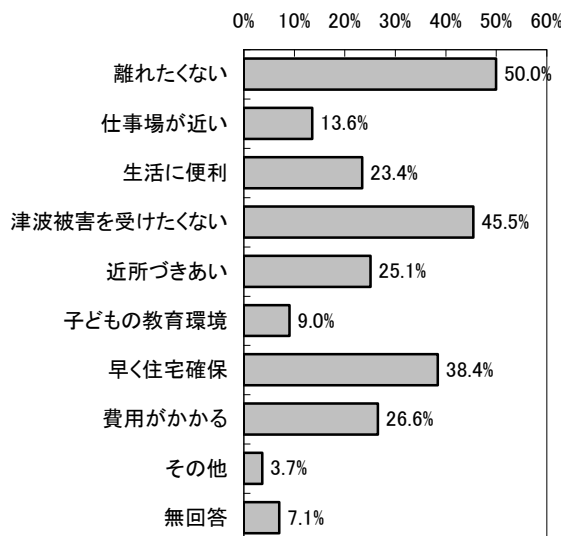
住みたい場所



考えている住まい



理由(複数回答)



住みたい場所×考えている住まいのクロス

3. 鎌ヶ崎	考えている住まい								
住みたい	既に補修	補修予定	新築	民間賃貸	公営住宅	未定	その他	無回答	計
同じ場所	8 2.3%	17 4.8%	37 10.5%	0 0.0%	0 0.0%	15 4.2%	2 0.6%	10 2.8%	89 25.1%
近くの高台など	0 0.0%	0 0.0%	50 14.1%	3 0.8%	5 1.4%	31 8.8%	3 0.8%	7 2.0%	99 28.0%
市内	1 0.0%	64 0.3%	181 18.1%	5 1.4%	11 3.1%	37 10.5%	1 0.3%	3 0.8%	122 34.5%
市外	0 0.0%	0 0.0%	3 0.8%	0 0.0%	1 0.3%	6 1.7%	1 0.3%	1 0.3%	12 3.4%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.3%	2 0.6%	3 0.8%	2 0.6%	1 0.3%	9 2.5%
無回答	1 0.3%	1 0.3%	2 0.6%	0 0.0%	0 0.0%	6 1.7%	0 0.0%	13 3.7%	23 6.5%
計	9 2.5%	19 5.4%	156 44.1%	9 2.5%	19 5.4%	98 27.7%	9 2.5%	35 9.9%	354 100.0%

(3) 今後の不安、備えについて

問4：これからの暮らしにおいて、不安なことについてお聞かせください。

問5：あなた自身で、今回の震災をきっかけに今後どのような備えをしたいと思いますか。

- 今後の不安としては、「住宅が確保できるか不安」と「余震や二次災害が不安」が多くなっています。
- 今後の備えとしては、「家族で避難場所、避難ルートの話し合い」、「非常時持出袋等の準備」が多くなっています。

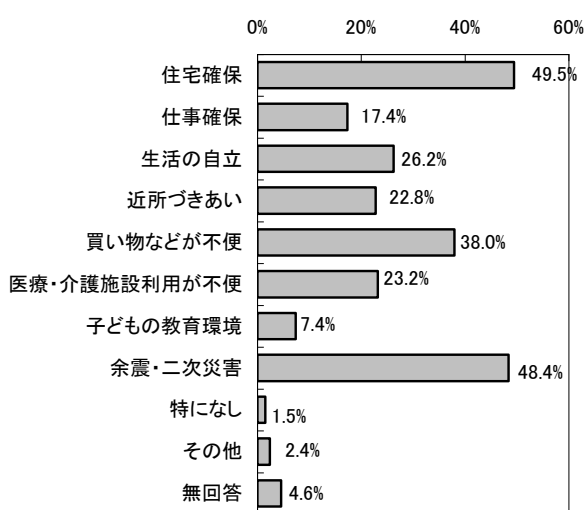
問4:これからの不安(複数回答)

	全体		鉾ヶ崎	
	回答数	割合	回答数	割合
住宅確保	1,208	37.8%	228	49.5%
仕事確保	551	17.2%	80	17.4%
生活の自立	947	29.6%	121	26.2%
近所づきあい	526	16.4%	105	22.8%
買い物などが不便	806	25.2%	175	38.0%
医療・介護施設利用が不便	817	25.5%	107	23.2%
子どもの教育環境	310	9.7%	34	7.4%
余震・二次災害	1,705	53.3%	223	48.4%
特になし	154	4.8%	7	1.5%
その他	104	3.3%	11	2.4%
無回答	173	5.4%	21	4.6%
計	7,301		1,112	

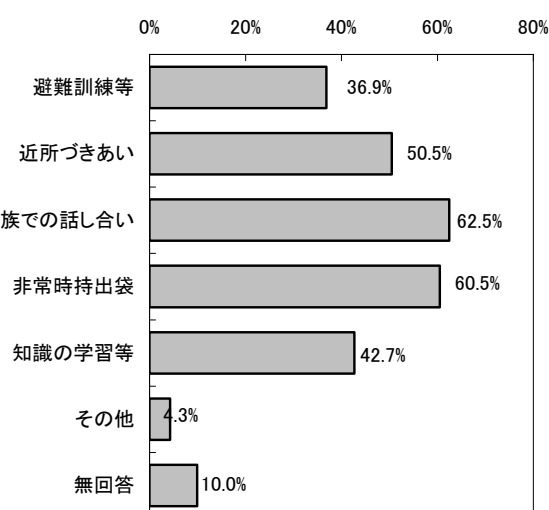
問5:今後の備え(複数回答)

	全体		鉾ヶ崎	
	回答数	割合	回答数	割合
避難訓練等	1,298	40.6%	170	36.9%
近所づきあい	1,406	43.9%	233	50.5%
家族での話し合い	2,043	63.8%	288	62.5%
非常時持出袋	1,970	61.6%	279	60.5%
知識の学習等	1,502	46.9%	197	42.7%
その他	128	4.0%	20	4.3%
無回答	333	10.4%	46	10.0%
計	8,680		1,233	

これからの不安(複数回答)



今後の備え(複数回答)



(4) 復興に向けた今後の施策について

問6：現在、宮古市では復興に向けた計画づくりに向け、次の3つの分野で施策の検討を進めています。「すまいと暮らしの再建」「産業・経済復興」「安全な地域づくり」それぞれの分野について、大切であると思うことは何ですか。特に、当てはまるもの3つまでの番号を記入してください。また、施策に対するお考えや提案などがありましたらお書きください。

- 「すまいと暮らしの再建」に関しては、回答者の半数以上が「住宅の再建などのすまいの確保に向けた取り組み」、「経済的な支援など生活再建に向けた取り組み」を選択しています。

- 「産業・経済復興」に関しては、「(施設の復旧、生産者支援、魚市場整備等の) 漁業振興に向けた取り組み」が多くなっています。
- 「安全な地域づくり」に関しては、「防潮堤や湾口防波堤等のハード整備に向けた取り組み」、「(道路や公共交通の再整備など災害に強い) 交通網の形成に向けた取り組み」、「道路、河川や漁港など公共土木施設の復旧に向けた取り組み」などのハード整備の取り組みが求められています。

ア:すまいと暮らしの再建(複数回答)

	全体		鉾ヶ崎	
	回答数	割合	回答数	割合
経済的な支援等	1,706	53.3%	257	55.7%
住宅再建支援	1,717	53.7%	279	60.5%
健康の維持	443	13.8%	53	11.5%
医療体制の確保	1,067	33.3%	138	29.9%
児童・生徒の心のケア	239	7.5%	36	7.8%
学校教育環境の整備	370	11.6%	42	9.1%
生涯学習等の環境整備	137	4.3%	14	3.0%
雇用の場の確保	1,139	35.6%	136	29.5%
地域コミュニティ	421	13.2%	67	14.5%
無回答	433	13.5%	73	15.8%
計	7,672		1,095	

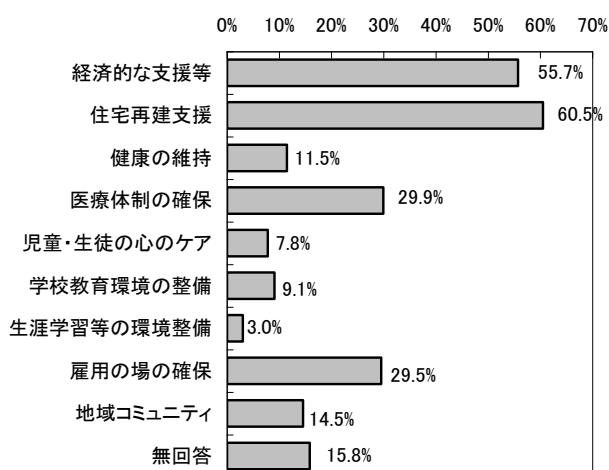
イ:産業・経済復興(複数回答)

	全体		鉾ヶ崎	
	回答数	割合	回答数	割合
農林業振興	967	30.2%	115	24.9%
漁業振興	1,522	47.6%	238	51.6%
製造業振興	815	25.5%	111	24.1%
商業・サービス業振興	881	27.5%	134	29.1%
観光振興	467	14.6%	77	16.7%
港湾振興	489	15.3%	76	16.5%
産業創出	689	21.5%	76	16.5%
事業創出	438	13.7%	59	12.8%
無回答	746	23.3%	111	24.1%
計	7,014		997	

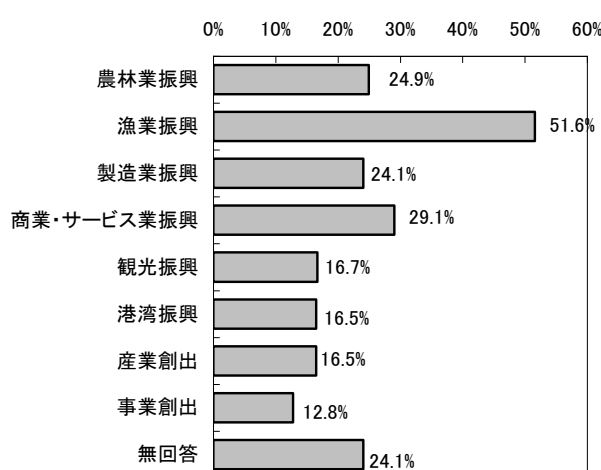
ウ:安全な地域づくり(複数回答)

	全体		鉾ヶ崎	
	回答数	割合	回答数	割合
防波堤等	1,838	57.4%	286	62.0%
交通網整備	1,717	53.7%	224	48.6%
土木施設復旧	1,361	42.5%	205	44.5%
地域防災力	444	13.9%	60	13.0%
情報伝達・避難計画	872	27.3%	113	24.5%
災害記憶継承	277	8.7%	43	9.3%
自然エネルギー	545	17.0%	62	13.4%
無回答	515	16.1%	82	17.8%
計	7,569		1,075	

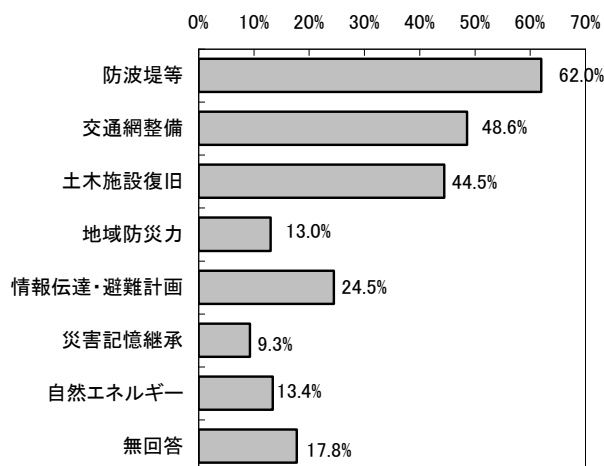
すまいと暮らしの再建(複数回答)



産業・経済復興(複数回答)



安全な地域づくり(複数回答)



■ 主な自由意見（原文要約）

- ・ 住まいとくらしの再建に関して、「住宅確保のための費用」などについての意見があります。
- ・ 産業・経済復興に関して、「漁業の復旧」、「観光の振興」などについての意見があります。
- ・ 安全な地域づくりに関して、「防潮堤の整備」、「防災施設や避難所のありかた」などについての意見があります。
- ・ その他として、「住民の意向を踏まえたまちづくりの推進」などについての意見があります。

住まいとくらしの再建について	
1	今から土地を取得して新しい家を建てるのは難しい。
2	現在は仮設住宅で暮らせるが、その先の2年後の住まいが不安。
3	三世代同居の家族を入れる公営住宅の建設をお願いしたい。低価格の建売住宅が出来るようバックアップをしてもらいたい。
4	今はみんなバラバラで、近所のみなさんがどこに居るかもわからない。もとの鰐ヶ崎に1日も早く戻れるように、みなさんで力を合わせていかなければならない。
5	鰐ヶ崎にお店（食料スーパー）が無くなり、買物に不便で困っている。
6	諸手続等での帰省や意見交換会等にも出たいので、仮設住宅に空室があれば貸してほしい。
7	事業者への支援による雇用確保が大切。
8	仕事につかない若い人が沢山いるので、仕事を与えてほしい。
9	生きる希望をなくさないように、雇用、借金等について国・県・市で支援してほしい。
10	宮古病院の医療体制が充実していないので不安。
産業・経済復興について	
1	海に近い所は、漁業関係と観光の施設を整備して、宮古が活気のある豊かなまちになってほしい。
2	漁にも出られず、収入の途絶えたいま、真っ先に漁港の整備が必要。
3	漁業だけではなく、他の産業も含めて総合的な基盤を造り上げる。
4	たとえ市内中心部が復興できても、鰐ヶ崎地域、田老地域の復興なくして宮古市の復興はないと考える。
5	シーサイド散歩道として蛸の浜からの浄土ヶ浜のルートを観光用に整備が必要。
6	風力・ソーラー発電に力を入れる。
安全な地域づくりにについて	
1	海岸近くに住宅を作らないほうが良い。
2	防潮堤は必要ではあるが高さ何mであれば安全ということではない。防潮堤は避難するまでの時間を稼ぐ役割もあると考えるのがいいのではないかな。
3	各地区に発電設備や井戸水などを備えたシェルターを高台に設置してはどうか。
4	高台への避難道路の整備が必要。
5	更地となった今、思い切って区画整理や防潮堤の見直し、公共施設の移転をしてはどうか。
6	宮古市庁舎等の所在地、配置についてはよく検討してほしい。
7	鰐ヶ崎地域の外周は細道ばかりで避難が大変。もう少し道路が広くしてほしい。
8	防波堤のハード整備に多額のお金をかけるよりも、避難ルートの確立やソフト面の地域防災力の強化に力を入れてほしい。
その他	
1	鰐ヶ崎地域全体が流失し、地区住民達は茫然としている。
2	早急にお金がほしい人、困っている人はたくさんいる。義援金の分配を考えてほしい。
3	車を失った人も義援金の対象にしてほしい。
4	復興は行政主導ではなく、住民の意向を十分に組み入れまちづくりに反映してほしい。
5	できるだけ細やかな、かつ長い支援をお願いしたい。
6	ここに生きた先輩に感謝し、現在生きている人たちが仲良くそして未来の子供たちに負担のない世の中であってほしい。
7	再興のまちづくりと、防災のまちとして、宮古を全国に発信していく。

